

見つけよう！ いけだのこっぽい宝

池田町立池田小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	3回
地域及び家庭への学校公開	5回(のべ)5日

(2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	91人
授業ボランティア(含:低ボラ)	0人
登下校支援ボランティア	10人
その他()	
	人

(3) 特色ある活動

テーマ「ふるさと教育」

具体的活動内容



本校は、今年度「福井をおいしく食べる食育事業」実践校の指定を受け、6年生を中心に池田の農業について勉強したり、野菜作りや収穫、こんにやく作りなどの実習も行ってきた。その際には、多くの地元の方々にゲストティーチャーとしてきていただいた。

主な活動としては

①池田の循環型農業を学ぶ。

こんにやく作り体験 池田町は、回収した生ゴミを牛糞と混ぜて堆肥にし、この堆肥を使って有機農業を行っている。そのシステム等をファームF(農林公社)の方に詳しく教えていただいた。

②農業体験

実際に学校農園で堆肥をまいて有機農業に挑戦したり、ファームFでトマトやきゅうりなどの野菜の収穫を体験した。

③いけだ食の文化祭に出店

自分たちで農園で作ったサツマイモを町の行事である秋の食の文化祭で販売した。また、春の食の文化祭では、町内を巡って、池田の食材を生かした料理を味わった

④こんにやく作り体験

農園でコンニャクいもを栽培し、秋には内外海小との交流でこんにやく作りに挑戦した。

⑤内外海小との交流で魚釣り及び調理体験



いけだ食の文化祭出店

小浜の内外海小との交流で、実際に鯛を釣り、釣った魚を刺身や焼き魚に調理していただいた。

池田の山の幸だけでなく、小浜の海の幸も味わい福井の食材の豊かさを実感した。



収穫体験

成果と課題

今年度の活動には、多くの地元の方に来ていただいて、教えていただくことができた。これも地域学校協議会によって、地域と学校がつながった成果である。今後も、幼小中が連携して、地域の方々と触れ合う活動を推進して行きたい。